

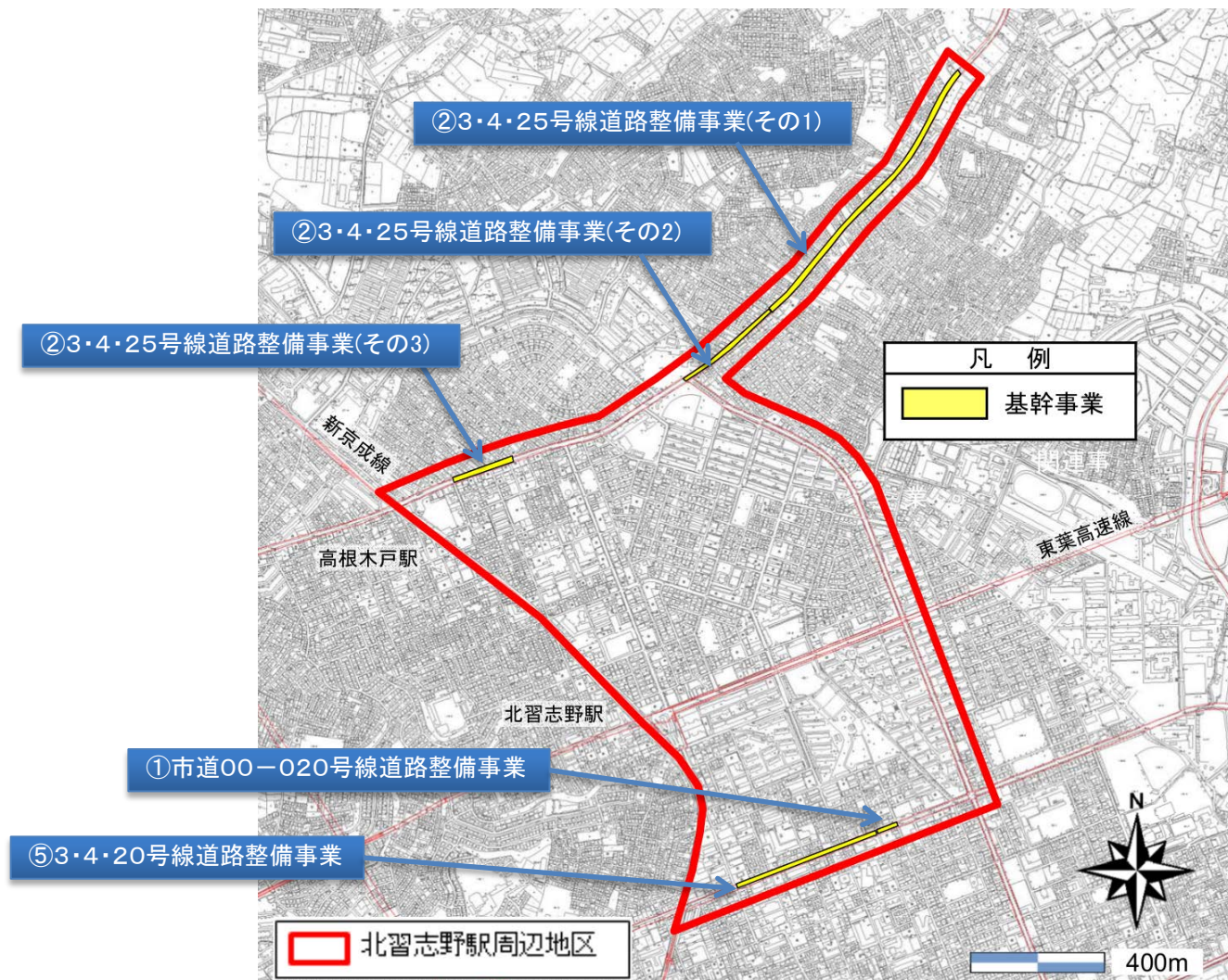
北習志野駅周辺地区 都市再生整備計画事業 事後評価(原案)の概要

地区の概要

対象地区は以下のような地区となっています。

本地区は、市の東部に位置し公団開発による集合住宅を中心に自然発生的な住宅地により形成され、駅周辺には商店街が形成されています。

また、北習志野駅には新京成線・東葉高速鉄道の鉄道2線が乗り入れており、1日の平均乗降客数は約79,000人のターミナル駅となっています。また、高根木戸駅約8,000人であり都心への通勤圏として利便性の高い住宅地となっています。



- 地区名：北習志野駅周辺地区
- 地区面積：158ha
- 計画期間：平成24年度～平成27年度
- 交付期間：平成24年度～平成27年度

まちづくりの課題

事業実施前には以下のような課題がありました。

本地区は、都心への通勤圏に位置し良好な住宅地が形成されています。各駅周辺には、商店街等の生活利便施設が形成され周辺居住者等に日々利用されていますが、これらの施設を利用する駅利用者や商店街利用者等が安全かつ快適に利用できる施設の整備が課題となっています。

まちづくりの目標

以下に示す目標に向けたまちづくりを行いました。

「交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出」

目標1: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備

事業内容

目標達成のために以下の事業を実施しました。

整備方針	実施事業
駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めます。	基幹事業 ①市道00-020号線道路整備事業 ②3・4・25号線道路整備事業(その1) ③3・4・25号線道路整備事業(その2) ④3・4・25号線道路整備事業(その3) ⑤3・4・20号線道路整備事業



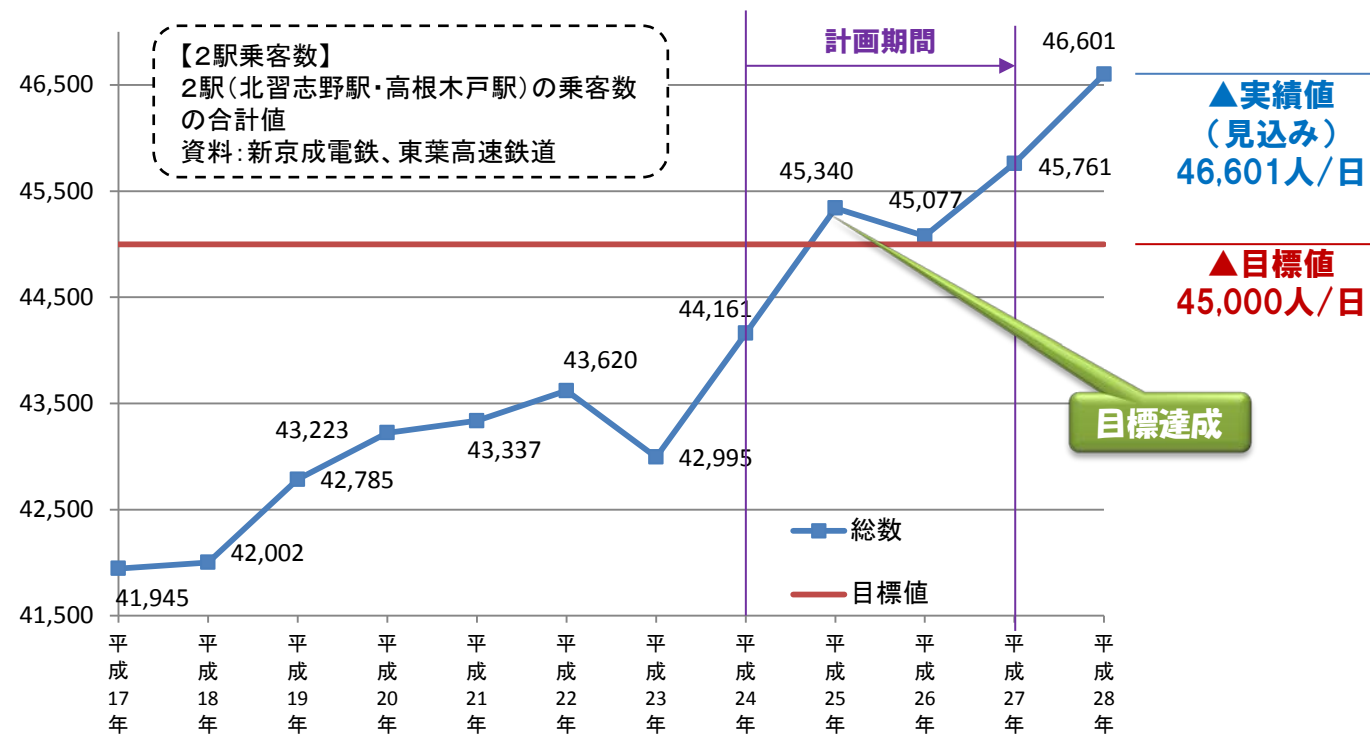
※各事業は右表に対応

目標の達成状況

以下の指標により目標の達成状況を評価しました。

2駅乗客数(人/日)

都市計画道路3・4・25号線(その3)が暫定的に供用開始されたことで、歩道が安全に通行できるようになり高根木戸駅の乗降客数の増加につながったと思われます。



今後のまちづくり方策

評価結果を踏まえ、今後は残された課題や新たに発生した課題に対応するために、以下のような取組を進めます。

■まちの課題の変化

○歩道が暫定的に供用されたことにより、交通事故が減少したことから歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できるようになったと思われます。

■今後のまちづくり方策

- 都市再生整備計画事業で建設・設置された道路や施設について、適切に維持・管理を行い長寿命化を図ります。
- 児童生徒等を交通事故から守るために未整備歩道の整備を促進し、安全な歩行空間を確保します。

交通事故件数(件/年)

3・4・25号線は整備が完了していませんが、連続した歩行空間の確保や交差点改良が完了したことにより、対象区間での交通事故件数が減少しました。

